

令和元年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市浦和西体育館
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市桜区大字下大久保1676-1</p> <p>②施設の設置目的 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図る。</p> <p>③施設の概要 昭和55年5月1日開館 敷地面積 5,704.84㎡ 建物面積 2,115.40㎡ 競技場、トレーニング室、卓球室、多目的室 他</p>
(3)指定管理者	埼玉シミズ・レッズランド共同事業体
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成30年4月1日～令和5年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成29年度:40,891千円、平成30年度:43,320千円、令和元年度:43,720千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況(括弧内は前年度の数値) 【利用件数】39,038件(43,074件) 【利用人数】98,945人(102,743人) 【利用率】競技場: 93.5%(92.3%)、多目的室: 84.0%(85.2%)</p> <p>◇業務実施状況 利用者登録及び申込み受付業務(施設の利用許可) 公共施設予約システムによる貸出し管理 事業計画書に基づく業務(市民スポーツの普及・支援・指導など)</p> <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理業務(清掃等) 毎日</li> <li>・消防設備点検 年2回</li> <li>・ルーフファン設備保守点検業務 年1回</li> <li>・自家用電気工作物保守管理業務 年6回</li> <li>・自動ドア保守点検業務 年2回</li> <li>・館内クリーンケア業務 週1回</li> <li>・機械警備業務 毎日</li> <li>・建築物定期調査業務 年1回</li> <li>・建築設備定期検査業務 年1回</li> <li>・体育器具及びトレーニング機器保守点検業務 年2回</li> <li>・浄化槽維持管理業務 週1回</li> <li>・ネズミ、害虫防除管理業務 年2回</li> <li>・事業系一般廃棄物収集運搬処理業務 週2回 等</li> </ul> <p>③その他(自主事業等) スポーツ教室(キッズ体操教室、シニア卓球教室、女子サッカー教室、ヨガエクササイズ、ジュニア新体操教室、エンジョイウォーキングサッカー等)の開催</p>

(6)収支状況	①収入 ・利用料金収入 6,293千円(前年度6,668千円) ・指定管理料 43,720千円(前年度43,320千円) ・その他収入 4,987千円(前年度5,616千円) ②支出 ・人件費 21,713千円(前年度22,205千円) ・事務費 9,623千円(前年度7,413千円) ・施設管理費 18,379千円(前年度19,116千円) ・事業費 4,318千円(前年度5,033千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	令和2年1月4日～令和2年3月1日に利用者アンケートを実施。その他投書箱を設けて随時受け付けている。下駄箱付近への監視カメラの設置や多目的室卓球台の更新を行った。
(8)その他	競技場のバスケットゴールの更新

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
トレーニング室・卓球室の空調の更新を行い、スポーツを実施しやすい環境を提供する。	平成30年7月に卓球室空調の更新を実施済。令和元年7月に老朽化していたトレーニング室空調の更新を行い、よりスポーツを実施しやすい環境づくりを図った。
監視カメラの増設	令和2年3月に防犯対策の強化として多目的室・玄関付近・券売機付近・下駄箱付近の4か所に監視カメラを増設し、施設の安全性を高めた。
月5回以上のトレーニング講習会を開催し、幅広い年齢層にスポーツを実施しやすい環境を提供する。	トレーニングを行う利用者の安全とスポーツの実施しやすい環境づくりの為、トレーニング講習会を仕様書より多い月5回以上開催し、令和元年度は79回の開催で新規のトレーニング室利用者層の拡大および利用マナーの向上につながった。
高齢者を対象とした教室やイベントを開催し、新たなスポーツ実施の機会の創出を図る。	単発の教室として子供か大人まで楽しめる『エンジョイウォーキングサッカー』を3回、男性向けの『メンズヨガ』を2回実施し、新たなスポーツ実施の機会の創出を図った。令和2年度以降は体力測定会や高齢者向けの教室実施を検討している。

## 3. 評価

(1)指定管理者による評価

<p><b>【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】</b>          競技場は公共施設予約システムにより適正に管理。競技場バスケットゴールの更新、トレーニング室空調及び器具の一部更新、多目的室の卓球台の更新、監視カメラの増設などを行い、利便性の向上に努めた。競技場や卓球室の当日空き状況をホームページ上に掲示し、利用促進に努めた。単発の教室で『エンジョイウォーキングサッカー』『メンズヨガ』を実施し多世代にむけて運動への誘導・促進に努めた。</p> <p><b>【経費の削減】</b>          昨年度の競技場照明機器のLED化・老朽化の卓球室空調の更新に続き今年度は老朽化のトレーニング室空調の更新を行い、未使用時の消灯等の節電を継続実施した。その結果光熱費の大幅な削減ができた。また、トレーニング機器の補修等、小規模修繕の内製化による経費削減を実施した。</p> <p><b>【適正な管理運営の確保】</b>          日常点検により館内・屋外問わず、危険箇所等の早期発見、早期対応に努めた。トレーニング室における一日4時間以上の人員の配置や巡回などにより利用者の安全確保に努めた。職員においては月1回実施しているスタッフミーティングなどを通して全職員で問題点等々を共有できるように努め、また、危機管理マニュアルによる各職員の役割対応の確認や消防訓練・Pマーク研修などの実施により資質の向上に努めた。近年の酷暑に応じての熱中症対策として、利用者に対する注意喚起の徹底・団扇の無料貸出・塩分補給の為の飴の提供、緑のカーテンなどを実施した。</p>
---

(2)さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局スポーツ部スポーツ振興課)

総合評価 (B) ※A~D

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】

施設の空調や各種スポーツ器具の更新を行い、利用者の利便性の向上に努めた。また、多世代の市民に向けた事業を行うことにより、スポーツ振興を図った。

【経費の削減】

円滑で無駄のない予算執行を心がけ、LED化の推進等の節電努力により、引き続き電気料金削減に努めた。

【適正な管理運営の確保】

協定書等に従って業務を適切に履行し、施設点検等を行った。

各種研修の実施により、情報セキュリティや施設の管理運営に必要な知識を共有している。

・総合評価

当施設での指定管理者経験(平成18から29年度)がある者を含めた事業者であり、経験を生かした適正な施設管理が行われた。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

利用者の安全確保、利用者の利便性の更なる向上とサービス品質の向上

利用者アンケートを踏まえた利用者の満足度の向上

危機管理体制の再確認

情報セキュリティ体制の再確認